

来週の「売り物」記事はこれ



2015年3月13日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

地下鉄サリン事件 20年

オウム元幹部 <罪の十字架>

15日(日)



何かが終わりと、何かが始まったと感じる「年」があります。敗戦の1945年、六〇年安保の1960年がそうでしょう。阪神大震災、そして地下鉄サリン事件が起きた1995年もまた、しかりです。なかでも猛毒サリンを使った無差別殺人など、凶悪犯罪を次々と起こした「オウム真理教事件」は衝撃的でした。それを契機に、



遠慮がちに設置されていた「防犯カメラ」は、監視カメラとして堂々と街角に立つようになりました。異分子を容認しない気分が社会を覆うようになった感じもします。いったい、オウム事件とは何だったのか。「裏の金庫番」と呼ばれ、後継のアレフで一時期代表を務めた元幹部(48)がいます。教団が招いた事件の大きさにたじろぎ、謝意を示そうとしていますが、その思いは被害者に届きません。ぬぐい消すことの出来ない被害者の傷……。地下鉄サリン事件から20年を迎えるなか、いまだ終わらない「オウム事件」の爪痕の深さを描きます。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

証言 — 地下鉄サリン事件 20年 — 15日(日)から



13人が命を落とし、6000人以上の負傷者を出した地下鉄サリン事件から、3月20日でちょうど20年となります。何が起きたのか分からないままサリンが入った袋を手で拾い上げ、一時意識を失った元営団地下鉄職員。取調室で教団幹部と向き合い、未曾有の組織犯罪の核心に迫る供述を引き出した捜査員。それぞれの立場で、あの日首都を襲った無差別テロに対応した人々の証言をつづる連載をスタートします。

— 安全保障法制に関する協議 —

自民、公明両党による安全保障法制に関する協議で、月内に関連法案の枠組みが固まる見通しです。専門用語も多く、分かりにくい分野であることから、特集面で集団的自衛権、他国軍への後方支援、人道復興支援、グレーゾーン事態への対応などに分け、詳しく解説します。

いかがなものか！

またまた問題化している「政治とカネ」

夕刊2面特集ワイド 16日(月)

これまで何度、同じような騒動を目にしてきたことでしょうか。国会で再び、企業・団体献金のあり方など「政治とカネ」が大きな問題となっています。政治献金を巡ってはリクルート事件やゼネコン汚職事件を受けて1994年、税金で賄う政党交付金を創設し、「企業・団体献金は5年後に廃止する」とされました。それから20年。今も政党交付金と企業献金の二重取りが続き、「20年前の約束」は今後も守られそうにありません。政治とカネについて改めて考えます。



松坂投手が9年ぶりにメジャーから日本球界復帰

「平成の怪物」は輝きを取り戻せるのか

夕刊2面特集ワイド 17日(火)



米大リーグ・メッツからフリーエージェント（FA）となった松坂大輔投手＝写真＝が福岡ソフトバンクホークスに入団し、西武に在籍した2006年以来、9年ぶりに日本球界に復帰しました。西武時代と同じ背番号「18」を背負う「平成の怪物」の投球に注目が集まっていますが、オープン戦での調子は今一つです。松坂投手はかつての輝きを取り戻すことができるのでしょうか。西武時代に監督だった東尾修さんや母校・横浜高校の渡辺元智監督ら松坂投手を知る人たちに聞きました。

「女の気持ちをたずねて」

おんなのしんぶん  16日(月)

今週は、夫(75)とともに認知症の義母(97)の世話を続ける東京都板橋区の山田トシ子さん(73)の物語です。息子が何人かも分からなくなってしまった義母ですが、山田さんへの感謝の気持ちを忘れず、折に触れ「ありがとう」という言葉を口にするとのこと。山田さんも「介護は生きがい」と言います。



衣～古着に新たな役割を

くらしナビ面 14日(土)



春、引っ越しや衣替えで、不要な衣類がたくさん出てくるシーズンですね。諸外国と比べ日本では「古着文化」が根付いておらず、ゴミとして処分される衣類も多い中、最近は古着のリサイクルや再利用に取り組む企業も増えてきています。ただ捨ててしまうのではなく、上手に活用する方法について考えます。

食企画～「やせ女子」考

くらしナビ面 17日(火)、18日(水)

「飽食の国」といわれる日本。しかし国民の平均的なエネルギー摂取量は減る傾向にあり、肥満者割合は減っています。特に若い女性に顕著で、20代女性の平均エネルギー摂取量は、食糧難だった終戦直後の日本人全体の平均より低いとか。先進国では肥満対策が大きな課題となる中、食を巡って若い女性たちに今、何が起きているのかを探ります。



A級順位戦プレーオフ挑戦者決定戦

社会面 17～18日



羽生善治名人への挑戦者を決める第73期名人戦(毎日新聞社、朝日新聞社主催、大和証券グループ協賛)のA級順位戦プレーオフ挑戦者決定戦が16日、大阪市福島区の関西将棋会館で行われます。プレーオフ1、2回戦を勝ち上がった久保利明九段＝写真左＝と行方尚史八段＝同右＝が、ともに初挑戦をかけて対決。23年ぶりの4者プレーオフとなった激戦がどう決着するか、注目されます。

